

令和6年秋の踏切事故防止キャンペーン

令和6年9月21日(土)～9月30日(月)までの10日間、JR東海では秋の踏切事故防止キャンペーンを実施しております。

愛知県内では、平成25年度から令和4年度までの10年間に129件の踏切事故が発生しており、そのうちの73件は警報機が鳴っている踏切に進入して列車に衝突したもので、無理な横断や安全確認を怠ったことが原因となっています。

警報機が鳴っているときは、踏切の中には絶対に入らないで下さい。

踏切通行者はもちろん、列車のお客様、さらには沿線の方々の命と財産をお守りするためにも、踏切事故防止にご協力くださいますよう、お願いいたします。

事故件数は中部運輸局HP「鉄軌道における運転事故等の発生状況（中部運輸局管内令和5年度）」より

ふみきり
踏切の手前で
止まれ!

右と左を確認
しようね。

踏切通行ルールを守りましょう。

秋の踏切事故防止キャンペーン
9月21日(土)～30日(月)

踏切の直前で一時停止、目と耳で左右の安全を確認する。
踏切機が降りはじめたときや、遮断機が降りてきたら踏切に入らない。

踏切の向こう側が混雑していたら踏切に入らない。
踏切内で立ち往生したら、非常ボタンを押す。発煙筒や手を振って列車に知らせる。

JR東海